

令和元年度 オープンミーティング 議事録

テーマ	<b>芦屋のお財布事情と10年後の姿</b> - 財政状況と次期総合計画について - 1. 第5次総合計画について 2. 財政状況について
-----	--

日時	令和元年10月19日(土) 10:30~12:00 まで
場所	朝日ヶ丘集会所
参加者	19名
行政出席者	いとう市長, 佐藤副市長, 福岡教育長

意見交換の概要は、次のとおりです。

★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【⇒赤字】で表示しています。

★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況と異なるものもあります。

【ご質問・ご意見等】	
1	<p><b>(質問・ご意見)</b> 人口減少に伴い、議員、職員も減らす必要があるのではないか。</p> <p><b>(市からの説明・回答)</b> 震災時に新卒職員の採用を減らしており、それをカバーするため近年では職員が少し増えてきています。また、人口は減っているものの、生活ニーズの多様化や災害への対応などもあり、例えば消防職員も増えています。今後は、ICTなどの活用も検討し、人件費の抑制に努めていく考えです。</p>
2	<p><b>(質問・ご意見)</b> オープンミーティングについて、事前に配布資料を公開してもらいたい。また、事前に質問を送れる仕組みや、インターネット映像配信を使った中継なども検討してはどうか。</p> <p><b>(市からの説明・回答)</b> 資料の事前公開は可能かと思いますが、インターネット映像配信を使った中継は、参加者のプライバシー面の問題もあり、難しいと考えております。</p>

【ご質問・ご意見等】	
3	<p>(質問・ご意見)</p> <p>これから先10年で問題となるのは少子化とIT化だと思う。伊丹市は進んでいると考えており、ネットワークも活用しながら防犯カメラやビーコンによる複合的な施策を進めている。芦屋市へも導入を検討してはどうか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>防犯カメラだけではなく、見守りは地域の皆さんで協力しあいながら進めていきたいと考えており、また、警察との役割分担の整理も必要と考えています。</p> <p>⇒防犯カメラはH28年度80台、H29年度20台、H30年度20台を設置済みです。令和元年度は30台を設置予定です。</p>
4	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市内在住の職員が少ない。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>市内在住の職員数は20%を切っていますが、市役所から2km圏内在住の職員数は多く、災害時などの緊急体制での問題はないと考えています。</p>
5	<p>(質問・ご意見)</p> <p>宝塚市で就職氷河期世代を対象にした採用をしているが、芦屋市も導入してはどうか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>就職氷河期世代の後半頃にあたる35歳までを対象に、社会人経験者の採用を実施しています。</p> <p>⇒今後の中途採用を行う際に、年齢要件の緩和等で対応を検討しており、「就職氷河期」の年代に限定した採用は行わない考えです。</p>
6	<p>(質問・ご意見)</p> <p>芦屋市の固定資産税が高すぎる。何か特別な対応はできないのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>JR北側は県内3番目に地価が高いですが、それはまちの評価が高いということ。そういったことから、行政サービスを少し高い水準で提供できていると考えています。</p>

【ご質問・ご意見等】	
7	<p>(質問・ご意見) 他市から芦屋市に転入してもらえるような発信や施策が必要かと思う。</p> <p>(市からの説明・回答) 多くの自治体で子育て世代を呼び込もうとしており、明石市などが有名です。芦屋市も施策としては同水準ですが、PRが不十分な部分もあるので、発信の仕方を考えていきます。生活を通して良いと感じてもらえるまちづくりを進めていきます。</p>
8	<p>(質問・ご意見) 朝日ヶ丘町は、土砂災害警戒区域に指定されているところが多い。</p> <p>(市からの説明・回答) 芦屋市は山も海もあり、災害の危険性が高いです。市有地のハード面はしっかり対応していきます。民有地は、市も入って協議しながら取組を進めたいと思います。また、市民の皆さまにも備えをしていただきたいです。</p>
9	<p>(質問・ご意見) 歳入の内容（交付税など）について、再度確認したい。</p> <p>(市からの説明・回答) 税収の少ない自治体には、交付税が配分されていますので、市自前か、交付税などの国の補助を受けているかの違いはありますが、結果的に提供しているサービスは一定程度同じになり、そこにプラスして各市の独自施策などが実施されています。</p>
10	<p>(質問・ご意見) 100年に一度の災害が頻発している。大雨などの際に朝日ヶ丘町がどういう状況になっているのか、CG等で見せていただければ、防災の意識が高まるのではないか。</p> <p>(市からの説明・回答) 県では、千年単位の災害が発生した際のシミュレーションをしています。防災の意識を高める手法については、検討していきます。 →県では令和元年8月に5百～4千年に一度を想定した『高潮浸水想定区域図』と千年以上に一度を想定した『洪水浸水想定区域図』を作成し、本市では『高潮浸水想定区域図』を今年度に、『洪水浸水想定区域図』を来年度に作成予定です。</p>

【ご質問・ご意見等】	
11	<p>(質問・ご意見) 温暖化・脱炭素に対し、どのような施策を考えているのか。</p> <p>(市からの説明・回答) ごみ焼却について西宮との広域化を検討していますが、その中で環境問題についても合わせて何かできないか協議しています。</p>
12	<p>(質問・ご意見) 全国に比べ、幼稚園・保育所等にかかる人件費などが高いのではないかと。</p> <p>(市からの説明・回答) 子どもの安全のために、幼稚園・保育所の職員の配置人数を国基準より手厚くしている部分があるためです。</p>
13	<p>(質問・ご意見) 幼稚園での3年保育を、2年先といわず前倒ししてやるべきである。また、他の幼稚園でできない理由なども説明すべき。</p> <p>(市からの説明・回答) まずは試験的に岩園幼稚園で行う予定です。 また、子どもたちの安全・安心のため、十分に準備して3年保育を進める必要があるため、前倒しでの実施は難しいと考えています。</p>
14	<p>(質問・ご意見) 無電柱化を今後進めるには、さくら参道の実績をよく検証してもらいたい。</p> <p>(市からの説明・回答) 無電柱化は、台風による電柱の倒壊など災害への対応にもつながると考えています。無電柱化を進める際は費用の縮減が図られるように進めていきます。</p>
15	<p>(質問・ご意見) 土砂災害の相談セクションは芦屋市にないのか。</p> <p>(市からの説明・回答) 市では防災安全課が対応します。県とも協力し、進めていきます。</p>

【ご質問・ご意見等】	
16	<p>(質問・ご意見) ごみ焼却への協力に関する依頼文書に日付がなかった。</p> <p>(市からの説明・回答) 以後、気をつけます。現在の状況は、水銀を除去する装置を整備しましたが、焼却停止中のゴミが滞留しているため、西宮市にも焼却を協力していただいているところです。また、休止していた焼却炉も運転を再開させ、2炉体制で進めますが、もうしばらくごみの減量にご協力をお願いします。</p>
17	<p>(質問・ご意見) 芦屋警察が地域を訪問され、安心につながった。警察の力を協力して活用してもらいたい。</p> <p>(市からの説明・回答) 芦屋警察としっかりと連携をとっていきます。</p>
18	<p>(質問・ご意見) 芦屋霊園の土石流検知装置(砂防河川センサー)はすごいと思う。きちんと県と協力されているので、もっとアピールしてはどうか。</p> <p>(市からの説明・回答) アピールしていきます。</p> <p>⇒『土石流検知装置』は六甲砂防事務所が設置しているものですが、本市では芦屋市防災情報マップに『土石流検知装置』を『土石流サイレン』という名称で掲載し、啓発しています。</p>
19	<p>(質問・ご意見) 高齢化が進んでおり、バリアフリーから一歩進んで、様々な施設で高齢者・障害のある方の活動が積極的に進むようお願いしたい。例としてルナ・ホールでは、ドアが重いことやエレベータの配置の問題、出演者の移動が不便である点などがある。</p> <p>(市からの説明・回答) ルナ・ホールは平成28年度に改修し、その際に観客に関連するバリアフリーは改修しましたが、ご指摘の点は確認していきます。</p> <p>⇒エレベータの新たな設置は構造上の問題により困難ですが、バリアフリー化に関しては今後とも可能な限り実施していきます。</p>